



# 薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No.31

令和6年 3月21日

文責：校長 齋藤和彦

## 令和5年度の修了・卒業

～「感謝と感動」は「希望と夢」へ～

3月4日は、「6年生を送る会」でした。5年生の全体企画・運営にて、各学年がそれぞれの出し物に、その気持ちを込めました。下級生どの学年も工夫を凝らし、全力で準備し、懸命に練習してこの日を迎えました。華やかであたたかな会場装飾、進行の歯切れのよい言葉ひとつ、実行委員長のすばらしいあいさつはノー原稿で真の気持ちを言葉一つ一つにのせて..6年生に届けられました。今年初めて、薫の子(全校児童)が体育館に一堂に会して校歌を歌ったことも会場の一体感..感動の幕開けを予感させるものでした。そして、次から次に繰り広げられる各学年の出し物は、キレッキレのダンス！6年生を巻き込んで楽しむ形態！6年生も進んで立ち上がり..歌ったり、一緒にダンスしたり、下級生のセリフに呼応するように..やさしい言葉を返してくれる..~こんな..すてきな時間があつという間に過ぎていきました。

下級生をこんなにも本気に..こんな気持ちにさせる6年生の姿(ふるまいやかかわり)があったからです。(私達職員も同様です)

・・・開会にて、私からも6年生に「ありがとう」を伝えました。沢山の中から二つに絞りました。一つは、『6年生の皆さんは、教室でも委員会活動でも授業でも放課後も、いつも誰もが(男女も)仲がいいのです。』~きつと、皆さんのこの姿が、下級生にも伝わって、薫小全体が、やわらかくやさしくなっているのだと思います。「ありがとう！」二つ目は、『6年生教室を訪れると、どんな授業でも、決して仲間を一人にしないことです。ペアでもトリオでも全体でも、つまずいている友だちや困っている友だちを助けます。必ず誰かが手をだし、教え合い、頭をつき合わせて学んでいるのです。』~きつと、皆さんのこの姿が、下級生にも伝わって、薫小全体が、「自分の考えを伝え合う学び方」が素晴らしいのだと思います。「ありがとう！」



コロナ禍にあつて、数々の制限を余儀なくされてきた子どもたちが、数年ぶりに顔を見合つて集い..声を合わせ..心を通わせることができた「6年生を送る会」でした。

下級生と6年生のこの日の「感謝と感動」これが、新年度への「希望と夢」につながっていることを確信しました。【薫の子の力です】

## 6年生 ~屋上でお弁当!~

保護者主催「卒業メモリアルイベント」副賞として、6年生がゲットした【卒業までに願いごとをかなえてもらえる券】3/19最終お弁当の日に使用しました!



## ◆◆ 校長室から ◆◆

~保護者さんとの『ひと言の契約』~

### 「先生..よろしくお願いします」

今年度始め..学級懇談会で..教育相談で..諸行事来校時に..担任からの電話連絡等に..私達は、多くの保護者の皆様から、この言葉をいただきます。「先生 よろしくお願いします」~時に、担任にとっては年上のずっと先輩の保護者から、また、緊張の面持ちで“先生”に話を..というドキドキの若い保護者からの、このひと言の裏にある「期待」「願い」「信頼」を察しなければなりません。

4月、この言葉ひとつに責任と覚悟を持って『年間契約』が始まり..今年度教育課程の修了(6年間の課程の修了:卒業)の日を迎えました。ひとつ教室に、育ってきた家庭環境も性格も価値観も違う30人が一緒に生活すれば、当然..衝突や意見の違い、誤解や主義主張も起きます。年間の教科学習を進めることと同時に、担任はこの数々の対応に追われながらも、真摯にそして丁寧に対処してきました。保護者の皆様のご理解ご協力にも支えられ、励まされての修了の日でもあります。

◇ 最後の授業参観(学級懇談会)でのことある学級の学級懇談会は、学級委員長さんが計画準備しました。そのなかで..~集まった保護者一人ひとりから、【この1年間のわが子の成長や伸びの姿を担当の先生に伝える場】を設けてくださったとのこと。

担任が味わった感激と感動、そして感謝の念は言うまでもありません。この先生はきつと、新年度へ更なる意欲と子どもや保護者に応えようという気持ちを新たにしたいことと思います。

このように薫小には、『先生を勇気づけ、よさを伸ばし、育てる保護者風土』があります。

職員を励まし育てていただいたことに感謝します。1年間ありがとうございました。

これからも保護者さんとの『ひと言の契約』に答えるよう私達は力を尽くします。

新年度も変わらず学校への愛着と職員への励ましをよろしくお願いいたします。